



# ききょうだより

令和4年  
7月20日  
第5号

教育目標 『磨き 輝き 未来をともに拓く』

校長 山田 和弘

## 思いやりのある子 ~『いじめを考える日』 人権集会~



4月末に行ったアンケートで、全校で28人の子が、仲間からの声掛けや行動でいやな気持ちになっていることが分かりました。いじめにつながるこの言動をなんとかしたいという思いから、児童会執行委員・6年生が動き出しました。

児童会スローガンに掲げた「笑顔の花さく美山小」を目指し、あいさつキャンペーン、標語コンクール、いじめ防止サミットの発表に続き、1学期のまとめの活動である『いじめを考える日』人権集会の取り組みが行われました。

6月30日の全校集会で、執行委員が「あたたかい言葉」が学校にあふれるようになることを願った劇を披露し、各学級で話し合いやなかよくなるための活動を体験しました。7月12日には、6年生が6つの班に分かれ、準備したワークショップを1～5年生わかば・あおば学級で行いました。「言われてうれしい言葉ランキング」を作成し、プレゼンテーションで発表しました。また、各学年の子のことを考えた活動を工夫し、実際に話したり、体を動かしたりして、笑顔の花をいっぱいさかせてくれました。やさしくたくましい美山小のリーダーに感動しました。

### 【いじめを考える日 人権集会を振り返って】

「1年生の子が楽しくできるように、班で協力してプログラムを作ったり、お互いの班の動画を撮って改善点を見つけてりして、協力して準備することができた。みんなで準備して楽しかった。またやりたい。」 (吉田 幸七さん)

「うれしい言葉ランキング、人権集会に参加してくれている子がいっぱいいたから、これで少しでもいじめがなくなればよいと思ったし、やりがいがあった。いじめをなくして、平和な学校になるようにがんばる。」 (長谷部 尊政さん)

「エンカウターの時に、やり方が分からない人に教えたり、自分自身も参加して、みんなに関わってのよかった。振り返りの時の感想で、楽しかったと言ってくれたのでうれしかった。」 (江川 大暉さん)

「これからも、日常でいるいるな子に話しかけていいたら、もっといじめや悲しい思いをしている人がいなくなると思ったので、続けていきたいです。」 (山本 芽生さん)

「困っている人が相談に来たら、『だいじょうぶ』だけでなく、しっかりと話を聞き、相談にのりたい。」 (藤田 真央さん)

### 《言われてうれしいことばランキング》

- 1位……ありがとう
- 2位……すごいね
- 3位……じょうずだね



## 「自分の命を守るのは、自分 そして 仲間です！」

夏休み前の情報モラル（インターネットにつながるものを使う時の約束、気を付けること）指導を全学年対象に行いました。頭では分かっている、つつい周りに流されたり、「これぐらいはいいだろう」と約束やルールを守らなかったりした場合に起きる危険や犯罪について、様々な事例をもとに考えました。また、侮辱罪が厳罰化された意味について、実際に起きた犯罪をもとに考えました。

タブレット、スマホ、ゲーム機、PC、テレビなど、私たちの生活には、インターネットにつながる機器は欠かせない物になっています。これからの社会は、これらの情報機器から得られる情報を正しく選択・判断できる力、『情報機器を正しく使いこなす力』を子供たちはもちろん、私たち大人も身に付けていかなければなりません。そのためにも、この夏休みは、

- 家庭で決めた約束を守ること、相手の気持ちを思いやること（悪口、個人情報は絶対に発信しない）
  - 困ったことが起きたら、すぐに大人に相談すること
  - 自分の命や安全は、自分で守ること そして 仲間どうして声をかけ合って守ること
- ご家庭においてもぜひ話題としていただき、約束を守って機器を使いこなせるよう、見届けをお願いします。

